

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

「記憶」と「記録」

管理課長 加治佐 賢

つい最近の話である。ある提出物の締切を1か月勘違いしていた。気付いた時には、その日が締切日であり、上司へ報告するとともに、相手方へお詫びと遅れる旨の連絡を行った。この提出物は自分だけで作成できるものではなく、関係機関へ早急に依頼し、提出期間が短くなることをお詫びした。記憶に頼りきっていたことと、危機意識もなく業務に当たっていたことに対して、恥ずかしさと自分自身に腹が立って仕方がなかった。課の職員へは、日頃から「正・速・美を大切に」と指導してきたが、改めて自分のこととして受け止めた。提出物については、一覧表を作成しながらも活用されなかったため、反省として、今は目につくところに置いておくことにしている。

「記録」について言えば、多数の方が様々な記録を取り、日常生活を送っていると思う。例えばいろいろな情報をノートに書き込んだり、パソコンで管理したりして記録している。また、日々の大切な思い出や旅先での思い出等は、写真や動画で記録していることだろう。

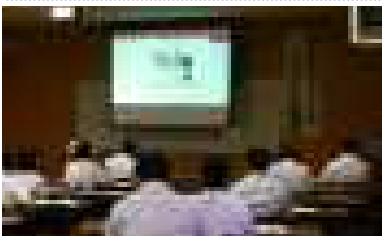
農家の方々は毎年、種まき、薬剤散布、除草、収穫した月日を記録するだけでなく、天気や湿度、収穫量、販売価格も詳細に記録していると聞く。また、野球選手は、相手ピッチャーのくせや相手バッターの弱点を記録するだろう。走るのが好きな方は、何キロを何分で走ったとかを、ゴルフ好きな方は、パット数やその日の悪かった(良かった)ところを記録するだろう。

教職員の皆さんはどうだろうか。職員朝会や職員会議で指導されたこと、地教委や県主催の研修会で学んだこと、保護者や地域住民の方から御意見のあったことなど、どのようなことを指導されたのか、どう対応した(する)のか、記録を取っているだろうか。書類作成一つとっても、どれ位の時間がかかるのか、気を付ける点はどこなのか、誰の協力が必要なのか等、一度記録していれば、誰もが確認することができ、次回(次年)以降の事務処理の効率化につながるはずである。

「学校における業務改善アクションプラン」は、3年計画の折り返しを迎えた。「記録すること」も念頭におきながら、今まで以上に「業務の簡素化」、「業務の効率化」、「業務改善の意識化」を推進してほしい。

北薩地区内のコロナ禍における研修会等への取組

コロナ禍で、例年と同じような研修会等が行えない中、今後の教育を見据えた取組を紹介します。



【学力向上フォーラム（北薩会場の様子：8月18日）】

サテライト会場として北薩教育事務所では、地区内の教員等38人が参加した学力向上フォーラム。

県内5会場を、ウェブ会議システム「Zoom（ズーム）」でつなぎ、講演やパネルディスカッションに参加した。

■各市町での研修会等の取組（南日本新聞社掲載記事より）

長島町（8月3日）

教員のオンラインを活用した学習方法体験を目的に、ウェブ会議システム「Zoom（ズーム）」による研修会を開いた。
町内全12小中学校と講師をインターネットで結び、双方向での実演を行った。

出水市（8月4日）

市内の小・中学校と市立高等学校の教諭ら約300人が参加して、1人1台端末導入後の教育を考えた教育講演会を実施した。
テレビ会議システムを使った遠隔合同授業の実践例紹介や講演を実施した。

薩摩川内市（8月24日）

市内の教員約80人が参加し、小・中学生に1人1台ずつパソコン等を使える環境を整備する国の「GIGAスクール構想」についての解説を受講した。

学力向上への取組「北薩地区オープンサポート教科フォーラム」

日時：令和2年11月11日（水）13:20～16:45
 場所：薩摩川内市入来文化ホール
 内容：成果発表（小、中それぞれ算数・数学、理科、外国語・外国語活動、英語）
 講評・講話 山本悟 県教育庁義務教育課長



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日（日）～7日（土）まで、地域が育む「かごしまの教育」県民週間になっています。この週間に向けて、保護者・地域住民への学校開放など開かれた学校づくりへの取組が各学校で計画されています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な対応が求められます。感染拡大には十分配慮しつつ、児童生徒や教職員が生き生きと授業や行事に取り組む教育週間にしてください。

県民週間表彰

【標語の部 最優秀賞】

「たくさんの できるがふえたよ みにきてね」
 薩摩川内市立東郷学園義務教育学校
 1年 東 湊士 さん

【ポスター原画の部 学校賞】

薩摩川内市立亀山小学校

スタートカリキュラムの取組を全校体制で!

「スタートカリキュラム」とは、小学校に入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくためのカリキュラムです。

今回の学習指導要領の改訂では、「小学校入学当初においては、（中略）生活科を中心に、合科的・関連的な指導や関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと」（小学校学習指導要領解説 総則編P73）が加えられました。

幼稚園教育において、育みたい資質・能力が育っている幼児の具体的な姿である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を意識したスタートカリキュラムの編成に全校で協力体制で取り組むことが大切です。

バランスとリズム

このような時だからこそ…、
 食事と運動と休養

朝食を欠食する児童(小6)の割合 (文科省調べ)					
第3次基本計画作成時		現状値			目標値
H27	H28	H29	H30	R元	R2
4.4%	4.5%	4.6%	5.5%	4.6%	0%

理由：時間がない 食欲がない等
 傾向：夕食の時間が比較的遅い ゲーム時間が長い等

栄養のバランスがとれた食事を、生活のリズムに合わせておいしく食べる。摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスを考えて、適度な運動をする。生活の中に心身の休養と睡眠の時間をリズムよく作る。

コロナ禍において、生活が変化し、多くの活動が制限され、不安や不満がたまっている人も多いのではないでしょうか。心身共に健康的な生活を送るには、自分と向き合い、バランスとリズムを意識することが大切です。



毎年、この時期は校内で事務職員の方から年末調整の説明と関係書類の提出をお願いされますが、この年末調整によって、ほとんどの教職員は確定申告を行わないで済む大切な手続きです。必要書類の提出遅れや記入誤りなどがあると、御自身の確定申告が必要になる場合がありますので御注意ください。※（保険料控除証明書や住宅取得資金に係る証明書等の準備を早めに！）

なお、北薩教育事務所では年末調整説明会や年末調整審査会などを通じて、教職員の適切な年末調整を支援しています。

道路交通法の一部改正について

運転中のスマートフォン等使用に対する罰則が強化（R1.12.1～）

運転しながらの **通話** **画面注視** → 危険行為 ← 絶対にダメ！

罰則	改正後（ ）内は改正前
	6月以下の懲役又は10万円以下の罰金（5万円以下の罰金）
反則金（普通車）	1万8千円（6千円）
点数	3点（1点）



編集後記

本県には「人の子も我が子もみんな地域の子」という言葉があるように、子供を地域で守り育てるという風土が根付いています。県民週間が始まります。家庭や地域が一体となった教育活動の充実・発展につなげていきましょう。

良質な教育環境づくりへのアドバイス

先日、ある中学校の校内研修に参加しました。研究授業後、研修部の進行のもと、全職員がワークショップ型の研修を行っていましたが、最後には、各自が研修の振り返りを80字以内で用紙に記入し、発表しての授業改善への強い決意を感じました。